

---

2026年度

---

JICA海外協力隊候補生向け農業研修  
募 集 要 項

---

独立行政法人国際協力機構 筑波センター（JICA筑波）



## 1 目的

JICA では、開発途上国の様々な課題解決を後押しする我が国の技術協力事業の一つとして、国づくりの中核となる人材を育成するために、途上国からの研修員受け入れ事業に取り組んでいます。国内拠点の一つ、JICA 筑波は農業施設を有し、半世紀にわたり農業・農村開発分野での研修を実施しています。

本研修は、JICA 海外協力隊候補生が、JICA 筑波において実施される農業・農村開発分野の研修に参加し、研修員と共に学ぶことで、主に以下の点を習得し、現地派遣後の活動に役立てることを目的としています。

- (1) 課題別研修を活用した栽培技術や普及手法の習得
- (2) 研修員との意見交換に基づく現地事情の把握や、外国語でのコミュニケーション手法の習得

なお、本研修は、JICA 農業・農村開発人材アカデミー<sup>1</sup>の一環として実施するものです。

## 2 研修対象コース

JICA 筑波が実施する課題別研修<sup>2</sup>に参加することにより、1. 目的で挙げた点の習得を目指します。

2026 年度は以下のコースを本研修の対象とします。なお、事前の受入準備の観点から、候補生の受入開始は 2026 年 4 月以降を対象とします。

- (1) 小規模農家の生計向上のための野菜生産技術
  - 研修員来日期間:2026 年 2 月 17 日～2026 年 10 月 16 日
- (2) 市場志向型農業振興 ―SHEP アプローチ―(普及員)
  - 研修員来日期間:2026 年 3 月 7 日～2026 年 9 月 19 日
- (3) 稲作技術向上(普及員)
  - 研修員来日期間:2026 年 3 月 9 日～2026 年 11 月 13 日
- (4) 天水稻栽培・種子生産及び品種選定技術
  - 研修員来日期間:2026 年 4 月 12 日～2026 年 10 月 17 日

---

<sup>1</sup> 農業・農村開発分野の国際協力事業に関心がある/従事している様々な関係者(学生、JICA 海外協力隊、JICA 専門家、等)を対象に、今後の国際協力キャリア形成の一助となるような学びの機会を提供するもの。以下のホームページもご覧ください。

[JICA 農業・農村開発人材アカデミー | 日本国内での取り組み - JICA](#)

<sup>2</sup>開発途上国の課題解決のために、特定の分野を対象とした現地行政官向けの研修を日本で行うもの。詳細は以下を参照ください。

[課題別研修 | 事業について - JICA](#)

上記対象期間のうち、希望するコースと参加を希望する研修期間を自身で設定のうえ、申込の際に応募フォームに記入ください(申込方法の詳細は以下 4. 申込方法を参照)。研修を通じた学びを深めるためにも、5 日間以上の参加が望ましいですが、事情がある場合は個別に相談ください。

なお、研修旅行(JICA 筑波外で宿泊を伴う、研修内容に関連する団体や施設の訪問)への同行は想定していないため、研修旅行期間を避けた日程での受入を行います。

### 3 応募資格

下記の要件を満たす方を対象とします。なお、本研修への参加希望時期が、JICA 海外協力隊の派遣前訓練などと重なってしまった場合は、本研修よりもそれらを優先的に受講してください。

- (1) 農業・農村開発分野(コミュニティ開発を含む)での派遣が決定している JICA 海外協力隊の隊員候補生。
- (2) 参加を希望する研修コースの分野と活動内容が合致していること(例:稲作分野のコースへの参加を希望する場合、コミュニティ開発隊員等で稲作が活動に含まれていること)。なお、研修員の出身国と候補生の派遣国が同一である場合は、分野と内容に多少の相違がみられても受入を検討します。
- (3) 本研修で学んだことを派遣後の活動に活かす意欲があること。
- (4) 語学力は不問とする。但し、研修は外国語で実施されることから、使用される言語で研修内容を理解することが求められる。また、研修員(研修に参加している現地行政官)と対象言語で積極的にコミュニケーションをとろうと努める姿勢が求められる。
- (5) 研修期間は 5 日間以上を目安とする。研修希望時期は各自で設定が可能であるが、具体的な研修期間は申込後に JICA と調整のうえ、決定する。
- (6) 本プログラム参加に要する経費を自己負担できること。

### 4 申込方法

#### (1) 申込方法

以下ア及びイのいずれも行ったらうで、申込完了となります。

- (ア) [申込フォーム](#)に必要情報を記入のうえ、送信する。

フォームには、研修を希望するコースと参加希望日程を記載いただく欄があります。ホームページ上に、各コースの概要資料と、研修スケジュールを掲載していますので、それらも参考にしつつ、回答をお願いします。

- (イ) JICA筑波連携推進課(tbictpp@jica.go.jp)へ応募者調書(協力隊応募時に提出した資料)を送付する。メール件名は「候補生向け農業研修申込\_(お名前)」として下さ

い。

## (2) 申込締切

受入手続きに係る準備の関係から、研修の開始を希望する日の1か月前までに申込をお願い致します。なお、応募者多数となった場合は、研修受入が難しい可能性もあります。

※応募にあたり提供いただく個人情報は、本プログラムの実施運営に必要な各種手続き、研修受入に係る運営、緊急連絡先の把握等の目的以外には使用しません。

## 5 申込後の流れ

応募フォームの記載内容、及び提出書類を基に、JICA で研修受入時期の検討を行います。受入時期は候補生とJICA 間で調整のうえ、決定します。JICA より受入可否の連絡を行った後、研修参加に係る同意書を事前に提出いただいたうえで、研修開始となります。

なお、研修参加を希望する時期や、希望内容によっては、他のコースをご案内するか、または希望コースでの受入れが難しい可能性もあることを予めご了承ください。

## 6 研修参加に係る経費

本研修に要する経費は全て自己負担となります。研修参加にあたって必要となる経費は以下の通りです。

- 自宅から JICA 筑波間の交通費
- 宿泊費(必要な方のみ): JICA 筑波への宿泊<sup>3</sup>を希望される場合は事前にお知らせください。
- 傷害保険・賠償責任保険(任意加入): 研修実施中の疾病、負傷などに適用される傷害保険、および第三者に損害を与えた際に適用される賠償責任保険へは任意で加入いただくよう、お願いします。

## 7 研修期間中の活動時間

研修期間中の活動時間は、参加する研修コースのプログラムに準じます。休日は基本的に土、日、祝日となります。

---

<sup>3</sup> 本研修に参加する方は 1 泊 6,300 円(税込・朝食付)での利用が可能です。

## 8 注意事項

- (1) 候補生には、研修中に知り得た JICA の秘密に関わる事項についての守秘義務が課せられます。
- (2) 候補生が誓約書の規定違反、機構又は機構以外の配属先の名誉を毀損する等不正な行為、または候補生として相応しくない行為を行った場合、研修を直ちに中止します。なお、研修の中止により生じた候補生の損害について、JICA は一切の責任を負いません。

## 9 お問い合わせ先

独立行政法人国際協力機構 筑波センター 連携推進課  
メールアドレス: [tbictpp@jica.go.jp](mailto:tbictpp@jica.go.jp)